



福岡市議会議員〈南区〉

近藤さとみ

いきいき便利 Vol.28
2022 SPRING



『いきいき』豊かな「まちづくり」

発行者: 福岡市議会議員 近藤里美 〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室
TEL:092-711-4736 FAX:092-732-4055 E-mail:satomi-kondo@fukuokashimin.jp URL http://kondo-satomi.jp

コロナだけじゃない!介護・障がい福祉の分野に予算拡充 ～令和4年度第1回定例議会 福祉都市分科会より～

令和4年度第1回定例議会2月16日(水)～3月25日(金)が招集され、新年度予算案、条例案など、全86議案について審議しました。近藤さとみは、予算案に対する討論に立ち、一年間の市政運営に対する会派の意見を述べました。今号では本定例会での予算審議(福祉都市分科会)に関して、ご報告いたします。



○新年度から「福祉局」「保健医療局」の2局体制へ

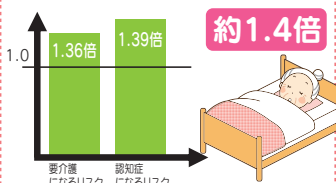
2局体制となって予算が増加!?

コロナ対策をはじめとする健康・医療分野や保険、生活保護や衛生管理を所管する「保健医療局」と、高齢者福祉や障がい福祉を所管する「福祉局」の2局体制となり、所管する当初予算の総額は令和3年度の約4,992億円から約5,237億円へと大幅に増額されることとなりました。これは、2局となり効率が悪化したこと等による弊害ではなく、健康寿命の延伸施策や介護予防、障がい者が地域で生活するための支援の強化など、生涯元気に活躍できる社会づくりに向けた支援を強化したことによるものです。

高齢者の介護予防策を強化

新型コロナウイルスの影響で自粛生活が常態化し、心身の機能が低下する「フレイル」が通常時以上に増加することが懸念されています。閉じこもり状態が続くことは、要介護・認知症のリスクが高まることも指摘されており(図参照)、リスクを回避・低減させるため、新たな取り組みを始めることとしています。例えば、「医療・健診・介護データの活用によりフレイルの恐れのある方を抽出し専門職の訪問によるきめ細かな支援を実施する」、「大学等と連携したデータ分析結果の活用により市民の健康寿命の延伸に係る取り組みを実施する」といった施策を計画しています。ご自身の生活習慣にあった施策が実施される際は、是非、ご参加いただければと思います。

閉じこもり状態の人は、**要介護・認知症になるリスクが約1.4倍**



出典:日本老年学的評価研究(JAGES) | 高橋雅英(日本福祉大学) | 障がい以外の他者との交流が「週1回未満」の状態から健康リスクになる可能性あり | Press Release No.054-14-08を元に福岡市制作

TOPICS 福岡市動物園のペンギンエリア完成!

去る1月18日、伊藤嘉人 福岡市議会議長、高島市長とご一緒に、福祉都市委員会委員長として、完成記念式典に出席させていただきました。春の行楽シーズン到来。ペンギンに会いに、福岡市動物園に是非お越しくださいませ。



春の市政報告 & 懇話会を開催します!

3月議会についてご報告し、皆さまからご意見等をお伺いする会です。所要時間は1時間の予定。**マスク着用**にてお越しくださいませ!

※なお、新型コロナウイルス対策のため、中止する場合があります。

- 5月1日(日)10:00～「塩原公民館」1F講堂
- 5月8日(日)10:00～「三宅公民館」1F講堂
- 5月12日(木)18:30～「アマカス」2F研修室D